



オランダ
最優秀ジャズ
新人賞
YoungVIPs
2017

結成から8年、サクソ奏者・作曲家の岡部源蔵率いる
ワンホーンカルテットが、3rdアルバムの発表を記念し、満を持して来日

OKABE FAMILY BY GENZO OKABE

TOUR IN JAPAN 2017 "DISORIENTAL"

岡部源蔵 (alto sax) ミゲル・ロドリゲス (piano)
ステイーヴン・ウィレム・ズワニンク (bass) フランチェスコ・デルベイス (drums)

- 10月 12日(木) 京都 le club Jazz
13日(金) 南青山 Body & Soul
14日(土) 名古屋 Mr. Kenny's
15日(日) 町田 Noise
(アフタヌーン・コンサート)
町田 Into the Blue
17日(火) 大阪 Mister Kelly's
18日(水) 横浜 Motion Blue
20日(金) 新宿 Pit INN
21日(土) 日立 George House
22日(日) 厚木 Cabin



www.genzookabe.com

FONDS
PODIUM
KUNSTEN
PERFORMING
ARTS FUND NL

Gottsen

KLM
Royal Dutch Airlines

CHALLENGE
RECORDS

■主催: Culturele Stichting Felis Catus ■後援: Jazz Tokyo

日本、スペイン、カナダ、イタリア。
オランダで交錯した4人のアイデンティティが奏でる
強く、深く、豊かなハーモニー。

“約一世紀前に黒人音楽を核として生まれたジャズという音楽は、なぜこれほど世界的に普及したのか。

本当の理由は音楽学校教育よりもむしろ、その音楽的汎用性にあるのではないか。

黎明期から全盛期にかけてジャズの素材になったのは、

だれでも簡単に口ずさめるアメリカン・スタンダードがほとんどだった。

それはジャズの汎用性の象徴であり、そこにアーティストが即興や編曲によって

様々な芸術的かたちに昇華させるスペースが広がった。

この音楽的自由こそが、移民国家アメリカで様々なバックグラウンドを持つアーティストに
アイデンティティを追求する可能性を与え、ジャズは、新しい音楽を次々と生み出してきたのだ。

Disorientalは、ほぼ人生の半分を母国から離れて生きる作者が、

アーティストとしての表現を模索した作品である。”

(ライナーノーツより抄訳)

OKABE FAMILY

BY GENZO OKABE

岡部源蔵が2009年オランダ・ハーグで結成。全楽曲の作曲・編曲をすべて岡部が手がける。アルトサックス、ピアノ、ドラム、ベースのオーソドックスな編成ながら、型にはまらないビビッドなサウンドと洗練されたハーモニー、圧倒的なライブパフォーマンスが異彩を放つ。2013年ファーストアルバム「Okabe Family」(O.A.P.レコード)を発表。第2作「Second Line」(同左、2014)ではニューオーリンズのアーリー・ジャズの現代的再解釈を試みる。2017年5月サードアルバム「Disoriental」をチャレンジ・レコードから発表。オランダ全国ジャズクラブ協会が独創性の高い新進ミュージシャンを発掘するYoung VIPs 2017に選出され、国営テレビ放送音楽番組Vrije Geluiden(フリー・サウンド)に出演、アムステルダム・ビムハウスをはじめオランダ全国の主要クラブを巡演、ユトレヒト・トランジション・フェスティバルなどにも参加。



Genzo Okabe

岡部源蔵 (as)

東京出身。15歳でサックスと出会い、20歳の時にイタリア・ローマに留学。ペルー・ジャズ国立音楽院クラシックサックス科卒業後、ローマ国立音楽院ジャズ科マスター課程に進学、ファンクロックバンド「カボリネア」などで活動。2008年にオランダに拠点を移し、「Okabe Family」を結成。2014年ハーグ王立音楽院ジャズサックス科マスター課程修了。専門誌「ザ・サックス」にて「ジャズシーン・イン・ヨーロッパ」連載中。趣味はサッカー観戦と料理。



Miguel Rodríguez

ミゲル・ロドリゲス (pf)

スペイン・マドリッド出身。ロッテルダム音楽院首席卒業、アムステルダム音楽院ジャズピアノ科マスター課程修了。リーダー作に「Miguel Rodríguez (2013)」, 「Contra Sentido (2014)」(いずれもドックス・レコード)。2014年のYoung VIPsに選出されオランダ全国ツアーを展開。ベンジャミン・ハーマンのプロジェクトなどにも参加し、欧州、アジア、南米など世界各地で活動、ブランフォード・マルサリスをはじめ世界のトッププレーヤーと共演している。



Steven Willem Zwanink

スティーヴン・ウィレム・ズワニンク (b)

カナダ・バンクーバー出身。マギル大学ジャズ科卒、ハーグ王立音楽院ジャズ科マスター課程修了。トロントハイム音楽院にてジュタイナー・ラクネス、ハーグ音楽院にてフランス・ファン・デル・ファーヴェン、ハイン・ファン・デ・ヘインらに師事。オランダのビバップ・シーンではピーター・ビーツやベンジャミン・ハーマンらと共演、またジョー・コーン、ディック・オーツ、ハロルド・メイバーン、ラリー・コリエル、ジョー・ファンズワースら国際的なアーティストとも共演。



Francesco De Rubeis

フランチェスコ・デル・ベイス (ds)

イタリア・ローマ出身。ハーグ王立音楽院ジャズドラム科卒。2013年よりニューヨークにも拠点を置き、イタリア、オランダ、アメリカで音楽活動を展開、マイク・スターン、ジョン・パティウッチ、チャド・レフコヴィッツ=ブラウン、ポップ・フランチェスキーニらと共演。ジュリアード音楽院などでのコンテンポラリー・ダンスとのコラボレーション経験も豊富。ローマのファンクロックバンド「カボリネア」の結成メンバーで、岡部のローマ時代からの盟友。